



## 学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子  
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

### ありがとうございました。

卒業まで1か月・・・、下学年を引っ張ってきた6年生は、1年生の頃からお世話になった読み聞かせの方々と2年生の頃からお世話になった駐在所の佐々木さんにお礼の手紙を渡しました。みなさんのおかげで、安心してほっとできる時間や落ち着くことができる時間をつくることができました。

読み聞かせの方や佐々木さんだけでなく、仁比山小学校見守り隊や地域の方々、ご家族の方々に守られ、安全に登校し、安心して過ごすことができています。本当にありがとうございます。



### 全校朝会 (2/15) の話

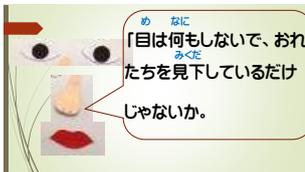
秋田県の昔話から「目と鼻と口のけんか」から



口が鼻に言いました。

「おれは、1日3回のご飯を食べて、体を養っているのに、顔の一番下にあるのはおかしい。」すると鼻は鼻だけに「ふふーん。」と笑い「1日3回くらいで、おまえは偉そうなことを言っはいかん！」

「おれは24時間息をしているんだぞ！だからおれの方がおまえより上だ！」と言



ました。このように口と鼻が言い争いをしていて、ふと上に目があることに気がつきました。

「おいそういえば、目は何もしないで、俺たちを見下しているだけじゃないか。」

それから2人で目に文句を言いに行くことになり、目に文句を言うと、

「口がえらそんなことを言うな！ 食べてよいものと悪いものと見分けてあげてるのはおれだぞ！」

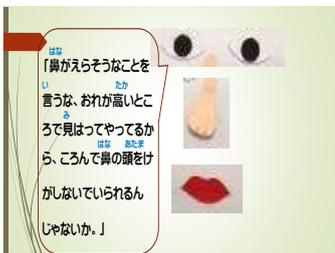
「鼻がえらそんなことを言うな、おれが高いところで見張ってやってるから、転んで鼻の頭をけがしないでいららんじゃないか。」

「口がそんなに上に行きたかったら、頭のとっぺんに行け。」

「そうなると、味噌汁はどうやって飲むんだ。」

と三人で話し合っていると、

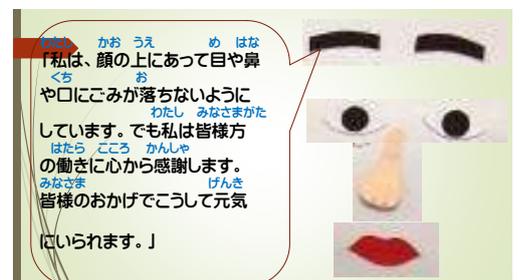
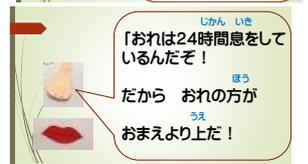
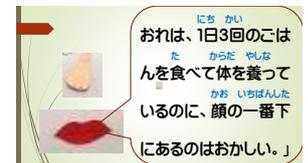
上に眉毛があることに気づきました。



「眉毛は何もしないで、朝から晩まで寝たままだ、あんなに何もしない奴はおらん。いったい何の仕事してるんだ。」と三人で文句を言うと、眉毛は

「私は、顔の上にあって目や鼻や口にごみが落ちないようにしています。でも私は皆様方の働きに心から感謝します。皆様のおかげでこうして元気にいられます。」

と言ったそうです。



さて、このお話からどんなことがわかりましたか？口だけでは生きていけない、鼻だけでも目だけでも生きていけない、それぞれが大切な役割を持っている、そしてそれを「お互いが感謝し合って生きていくことが大切」ということです。

ところで、みなさんには、神様から、プレゼントが贈られています。何でしょう。人間には、相手が喜んだとき「自分もうれしくなっちゃう」という脳の仕組みがあるのです。人間の脳というのは、人が喜ぶことをやって、自分が人に喜ばれたとき、ものすごく幸せを感じる、そういう仕組みになっているのです。この、相手が喜んだとき「自分も嬉しくなっちゃう」という脳の「仕組み」が、神様からのみなさんへのすてきなプレゼントなのです。さっきの目と鼻と口のけんかのお話からわかったように、お互いに助け合い、そして、それが自分の喜びと感じられること、それが人間なのです。神様がくれたプレゼントなんです。でも、「人を喜ばせるって難しい」そう思っている人もいるでしょう。いいえ、実は人を喜ばすことって、みなさんが思っているほど、難しいことはありません。例えば、友だちに「いつも親切だね」って言ってあげるのもいいです。食事をしたとき、作ってくれた人に「おいしかった。」というのもいいですね。友だちと久しぶりに会ったなら、「会えてうれしいよ」とかいうのもいいです。先生やおうちの人に「いつもありがとうございます。感謝しています！」そういう言葉を言っても喜ばせることができます。そうやって、人が喜んでくれると自分もとてもうれしくなってしまうのです。

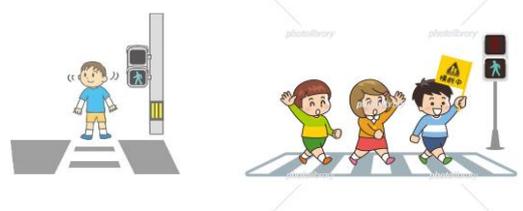
今月末に「6年生を送る会」があります。1年生から5年生は、6年生にどんなありがとうを伝えますか。6年生は残り1カ月ほどで卒業です。小学校最後の時間を、先生方や在校生、地域の方々などお世話になっているみなさんにどのようにありがとうを伝えて卒業しますか。

校長先生は、人を喜ばせる以上の喜びはないと思います。人を喜ばせることは、神様がくれた「人間の本当の楽しみだ」と思っています。

## お願い

○全校朝会后、教頭から、先日指導した内容について以下の2点について確認し、再度話をしました。

- ・道路を渡る時には、右・左・右とよく見て、手を挙げて（旗があるときは旗を上げて、黄色い帽子があるときは帽子を高く上げて）渡りましょう。
- ・夕方5時には、自宅へ。



ご家庭でも話をしてください。よろしくお願ひいたします。

○新型コロナウイルス感染拡大予防のために、日頃よりご協力いただきありがとうございます。ご存知の通りオミクロン株は非常に感染力が強く、佐賀県でも猛威を振るっている状況です。学校でも、正しいマスク着用（鼻を出さず、隙間なく）や手指消毒の徹底（ハンカチを必ず持たせてください）を引き続き指導しています。

ご家庭でも、引き続きご協力をお願いいたします。



口だけでは生きていけない、鼻だけでも目だけでも生きていけない、それぞれが大切な役割を持っている、

たが かんしゃ あ い  
「**お互いが感謝し合って生きて**  
たいせつ  
**いくことが大切**」

### 神様からのプレゼント

- ・ あいて よろこ
- ・ **相手が喜んだとき**
- ・ **じぶん**
- ・ **「自分もうれしくなっちゃう」**
- ・ のう しく
- ・ **という脳の仕組み**

### 人をよろこばせる

「いつもしんせつだね。」  
「おいしかった。」  
「会えてうれしいよ。」  
「いつもありがとうございます。」  
「感謝（かんしゃ）しています。」